

令和 6 年 度

小学校教員資格認定試験

教科及び教職に関する科目(Ⅲ)

注 意 事 項

受験者は、下記の注意事項に従うこと。それ以外の注意事項は全て試験監督者の指示によること。

1. 試験監督者の「始め。」の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 小学校の 10 教科の中から、1 教科を選択して受験してください。
3. 問題は 2 問とも解答してください。
4. 解答用紙は、1 問につき 1 枚(表のみ)使用してください。
5. 算用数字は 1 マスに 2 文字、記号及びアルファベットは 1 マスに 1 文字とします。また、句読点も 1 文字と数えます。問題において特段の指示があるものは、これにかかわらず問題の指示のとおりとします。
6. 解答する教科名、受験番号、氏名を解答用紙の指定された欄に 2 枚とも必ず記入してください。
7. この試験の解答時間は、「始め。」の合図があってから 60 分です。
8. 試験が終わるまで退室できません。
9. 試験監督者の「やめ。」の合図があったら、直ちにやめてください。
10. 下書きには問題冊子の余白を使用してください。
11. 問題文中の「小学校学習指導要領」とは「小学校学習指導要領」(平成 29 年 3 月文部科学省告示第 63 号)における対応する教科の章又は節を指し、各教科の『小学校学習指導要領解説』とは文部科学省『小学校学習指導要領(平成 29 年告示)解説』(平成 29 年 7 月)の対応する教科のものを指すものとします。
12. 試験終了後、問題冊子を必ず持ち帰ってください。
13. 各教科のページ数は次ページの目次に記載しています。

目 次

1. 国 語	1
2. 社 会	4
3. 算 数	7
4. 理 科	10
5. 生 活	13
6. 音 楽	16
7. 図画工作	19
8. 家 庭	22
9. 体 育	25
10. 外 国 語(英語)	28

国語

問 1 次の各問いについて、解答用紙の行頭 1 文字目に(1), (2)の問題番号を書いた後に答えなさい。

- (1) 「小学校学習指導要領」の「第 2 各学年の目標及び内容〔第 5 学年及び第 6 学年〕 2 内容〔知識及び技能〕」には、我が国の言語文化に関する次の指導事項が示されている。

エ 書写に関する次の事項を理解し使うこと。

(中略)

ウ 目的に応じて使用する筆記具を選び、その特徴を生かして書くこと。

この指導事項を指導するに当たり、どのような学習活動が考えられるか。次の①～③を具体的に挙げながら、全て合わせて 50 字以上 100 字以内で記述しなさい。

- ① 活動場面・活動内容
- ② 児童が選ぶ筆記具の名称
- ③ 児童が選ぶ筆記具の特徴

- (2) 「小学校学習指導要領」の「第 3 指導計画の作成と内容の取扱い」には、次の事項が示されている。

(3) 第 2 の内容の指導に当たっては、学校図書館などを目的をもって計画的に利用しその機能の活用を図るようにすること。その際、本などの種類や配置、探し方について指導するなど、児童が必要な本などを選ぶことができるよう配慮すること。なお、児童が読む図書については、人間形成のため偏りがないよう配慮して選定すること。

「学校図書館などを目的をもって計画的に利用しその機能の活用を図る」には、どのような指導が考えられるか。次の①～③を挙げながら、全て合わせて 100 字以上 150 字以内で記述しなさい。

- ① 学校図書館のどのような機能を生かすか。
- ② どのような単元で学習するか。
- ③ 児童の具体的な学習活動はどのようなものか。

問 2 「小学校学習指導要領」の「第2 各学年の目標及び内容〔第3学年及び第4学年〕 2 内容〔思考力、判断力、表現力等〕 B 書くこと」の(1)には、次の指導事項が示されている。

- イ 書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること。

ウ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。

この二つの指導事項を指導するために、「小学校学習指導要領」の同(2)の言語活動例にある「ア 調べたことをまとめて報告するなど、事実やそれを基に考えたことを書く活動」を行いたい。そこで、第3学年の授業で、「いろいろなことわざについて調べて、その使い方を報告書にまとめよう」という単元を設定して、全体で7時間の学習活動を進めることにした。

あなたならどのような授業を考え、どのように指導を行うか。7時間の学習活動全体が分かるように、600字以上800字以内で記述しなさい。

社 会

問 1 次の文章は、「小学校学習指導要領」の「第2 各学年の目標及び内容〔第4学年〕 2 内容」からの抜粋である。

(2) 人々の健康や生活環境を支える事業について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 飲料水、電気、ガスを供給する事業は、安全で安定的に供給できるよう進められていることや、地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていることを理解すること。

(中略)

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 供給の仕組みや経路、県内外の人々の協力などに着目して、飲料水、電気、ガスの供給のための事業の様子を捉え、それらの事業が果たす役割を考え、表現すること。

このことに関する次の各問いについて、解答用紙の行頭1文字目に(1)～(4)の問題番号を書いた後に答えなさい。

- (1) 飲料水、電気、ガスを供給する事業に関する学習において、飲料水の「供給の仕組みや経路」に着目して調べる事項として適切なものを、具体的に二つ挙げなさい。
- (2) 飲料水、電気、ガスを供給する事業に関する学習において、電気の「供給の仕組みや経路」に着目して調べる事項として適切なものを、具体的に二つ挙げなさい。
- (3) 飲料水、電気、ガスを供給する事業に関する学習において、ガスの「供給の仕組みや経路」に着目して調べる事項として適切なものを、具体的に二つ挙げなさい。
- (4) イの(ア)を指導する際、どのようなことに配慮することが大切か。『小学校学習指導要領解説』に示されている配慮事項を踏まえて、具体的に100字程度で記述しなさい。

問 2 次の文章は、第 6 学年の歴史学習における「聖武天皇が国を治めた頃」の事象について述べたものである。

戸籍に登録された 6 歳以上の人々には、性別や身分に応じて口分田が与えられ、その人の死後には国に返すことになっていた。人々は、男女ともに、口分田の面積に応じて稲を納める租を負担した。さらに一般の成人男子には、租のほかにも、布や特産物を納める調・庸、土木工事などを行う労役、兵士となる兵役の義務が課せられた。こうした重い負担から逃れるために逃亡する人々も現れ、荒廃する口分田もあった。

朝廷は、人口の増加による口分田の不足を補い、税の増収を図るため、722(養老 6)年には百万町歩開墾計画を立て、723(養老 7)年には三世一身法^①を施行した。また、743(天平 15)年には墾田永年私財法^②を発した。

このことに関する次の各問いについて、解答用紙の行頭 1 文字目に(1)、(2)の問題番号を書いた後に答えなさい。

- (1) 下線部①は、どのような内容の法令であったか、60 字以上 80 字以内で記述しなさい。
- (2) 下線部②は、どのような内容の法令であったか。また、この法令が発せられた結果として、社会にどのような変化が見られたか。次の四つの語句を全て用いて 100 字以上 120 字以内で記述しなさい。その際、使用した四つの語句に下線を引くこと。なお、同じ語句を複数回使用した場合にもその全てに下線を引くこと。

【語句(使用する順番は問わない)】

「貴族・寺院」 「公地・公民」 「私有」 「荘園」

算 数

問 1 「小学校学習指導要領」の「第2 各学年の目標及び内容〔第5学年〕 2 内容 C 変化と関係」の(2)に示された「異種の二つの量の割合」に関する次の各問いについて、解答用紙の行頭1文字目に(1), (2)の問題番号を書いた後に答えなさい。

- (1) 「異種の二つの量の割合」の学習指導では、速さを「単位時間あたりに移動する長さ」として捉え、 $(速さ) = (長さ) \div (時間)$ として表すことを指導するのに対して、児童は日常生活や学校生活での経験から、速さを「単位時間あたりに移動する長さ」とは異なった捉え方をすることがある。その捉え方とはどのようなものか。具体例を挙げて200字以内で記述しなさい。
- (2) 「異種の二つの量の割合」で育成を目指す思考力、判断力、表現力等である「異種の二つの量の割合として捉えられる数量の関係に着目し、目的に応じて大きさを比べたり表現したりする方法を考察し、それらを日常生活に生かすこと」の学習指導を行う際、どのような点に留意する必要があるか。具体例を挙げて500字以内で記述しなさい。

問 2 123, 234, 345, 456, ……のように、各位の数字が連続した自然数になる 3 桁の自然数に、198 を加えると、「 $123 + 198 = 321$ 」, 「 $234 + 198 = 432$ 」, 「 $345 + 198 = 543$ 」, 「 $456 + 198 = 654$ 」のように、各位の数字の並びが逆になるという性質がある。このことを参考に、次の各問いについて、解答用紙の行頭 1 文字目に(1), (2)の問題番号を書いた後に答えなさい。

(1) 1234, 2345, 3456, 4567, ……のように、各位の数字が連続した自然数になる 4 桁の自然数の場合、上記 3 桁の場合の 198 に当たる数、つまり各位の数字の並びを元の数の逆にするような数を求めなさい。

(2) (1)で求めた数を、1234, 2345, 3456, 4567, ……のように、各位の数字が連続した自然数になるような 4 桁の自然数に加えれば、その答えは、各位の数字の並びが常に逆になることを証明しなさい。

理科

問 1 第 4 学年の内容「金属，水，空気と温度」を扱う単元では，「金属は熱せられた部分から順に温まるが，水や空気は熱せられた部分が移動して全体が温まること」を学習する。このことに関する次の各問いについて，解答用紙の行頭 1 文字目に(1)～(3)の問題番号を書いた後に答えなさい。

- (1) 「金属は熱せられた部分から順に温まること」を児童に理解させるために，どのような実験を行えばよいか。実験方法を一つ，200 字以内で記述しなさい。
- (2) 「水は熱せられた部分が移動して全体が温まること」を児童に理解させるために，どのような実験を行えばよいか。「水の温まり方」を理解させるための実験方法と，「温まった水の動き」を理解させるための実験方法を一つずつ，合わせて 300 字以内で記述しなさい。
- (3) 「空気は熱せられた部分が移動して全体が温まること」を児童に理解させるために，どのような実験を行えばよいか。「空気の温まり方」を理解させるための実験方法と，「温まった空気の動き」を理解させるための実験方法を一つずつ，合わせて 300 字以内で記述しなさい。

問 2 第 5 学年の内容「動物の誕生」を扱う单元では、児童に発生や成長についての観察を行わせるため、メダカを飼うことにした。メダカを用いた学習に関する次の各問いについて、解答用紙の行頭 1 文字目に(1)～(5)の問題番号を書いた後に答えなさい。

- (1) メダカのオスとメスの見分け方を、100 字以内で記述しなさい。
- (2) メダカを飼うときには、メダカを入れる水及び水槽を置く場所に注意する必要がある。それぞれどのような注意が必要か、合わせて 100 字以内で記述しなさい。
- (3) メダカに卵を産ませ、卵からメダカになる様子を観察させたい。卵を産ませ、メダカをふ化させるためには、どのようなことに気を付ける必要があるか。気を付ける点を四つ、全て合わせて 150 字以内で記述しなさい。
- (4) 解剖顕微鏡を用いてメダカの卵の中の変化を継続的に観察することにした。解剖顕微鏡の使い方について、観察に用いる卵の取扱い方を含め、250 字以内で記述しなさい。
- (5) 受精直後からメダカがふ化するまでの観察結果から、メダカの受精卵がどのように変化していったかをまとめることにした。観察結果から見いだすことのできる受精卵の変化を六つ、全て合わせて 200 字以内で記述しなさい。

生 活

問 1 『小学校学習指導要領解説』の「第3章 生活科の内容 第2節 生活科の内容」の(3)に示された「地域に関わる活動」に基づき、第2学年の児童が初めて町探検に出かける学習を構想する。次のとおり単元計画(10時間扱い)を立てる場合、空欄 ① ～ ⑩ に当てはまる、それぞれの活動内容に応じた留意事項(事前に準備しておくこと、活動時に指導・支援するとよいことなど)を、各75字以内で記述しなさい。なお、解答用紙の行頭1文字目に①～⑩の番号を書いた後に記述すること。

【単元計画】

単元名：第2学年「まちたんけんに出かけよう」(10時間扱い)

	時間	主な学習活動	留意事項 (事前の準備・指導・支援等)
1	1時間	まちについて話す	①
			②
2	3時間	たんけんの計画を立てる	③
			④
			⑤
3	3時間	グループでまちをたんけんする	⑥
			⑦
			⑧
4	3時間	見つけたことをつたえ合う	⑨
			⑩

問 2 生活科において、児童の気付きの質を高めるためには、「繰り返す活動(繰り返し関わる活動)」の設定が重要である。実際に、どのような活動の繰り返しでどのような気付きが得られるか。具体的な学習活動とその学習活動によって得られる気付きを組み合わせる例を五つ答えなさい。なお、解答用紙の行頭1文字目に、例示ごとに①～⑤の番号を書き、各100字以内で記述すること。

音 楽

問 1 次の(1)～(5)の中から二つ選んで、時代、国や地域、曲の特徴や様式や内容、演奏の形態について、各 100 字以上 150 字以内で記述しなさい。なお、解答用紙の行頭 1 文字目に、選んだ(1)～(5)の番号を書いた後に記述すること。

- (1) ヴェルディ作曲 《アイーダ》
- (2) ガーシュウィン作曲 《ラブソディ・イン・ブルー》
- (3) 武満徹作曲 《ノヴェンバー・ステップス》
- (4) ホルスト作曲 組曲 《惑星》
- (5) 八橋検校作曲 《六段の調》

問 2 「小学校学習指導要領」の「第 2 各学年の目標及び内容〔第 3 学年及び第 4 学年〕 2 内容 A 表現」の(3)には、音楽づくりに関する次の指導事項が示されている。

ア 音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、次の(ア)及び(イ)をできるようにすること。

(ア) 即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得ること。

(イ) 音を音楽へと構成することを通して、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつこと。

このことに関する次の各問いについて、解答用紙の行頭 1 文字目に(1)、(2)の問題番号を書いた後に答えなさい。

(1) (ア)の内容に基づき、音楽づくりを指導する際の留意点について、160 字以上 200 字以内で記述しなさい。

(2) (1)の留意点を踏まえた具体的な活動例を、160 字以上 200 字以内で記述しなさい。

図画工作

問 1 低学年における「絵に表す」活動で、物語『大きなかぶ』を読み聞かせて「おはなしから うまれたよ」という授業を行うことにする。このことに関する次の各問いについて、解答用紙の行頭 1 文字目に(1)、(2)の問題番号を書いた後に答えなさい。

(1) この授業の学習指導案を作成することを前提に、次の①～③の観点で授業の目標を、各 75 字以上 100 字以内で記述しなさい。なお、解答用紙の行頭 2 文字目に①～③の番号を書いた後に記述すること。

- ① 知識及び技能
- ② 思考力、判断力、表現力等
- ③ 学びに向かう力、人間性等

(2) この授業を次のような展開で実施する。空欄 ① ～ ⑤ に当てはまる内容について、① ～ ③ は各 50 字以上 100 字以内、④、⑤ は各 25 字以内で記述しなさい。なお、解答用紙の行頭 2 文字目に①～⑤の番号を書いた後に記述すること。

場面	教師の行為や言葉	児童の活動や言葉
導入	『大きなかぶ』の読み聞かせを行う 「 ① 」(児童の活動を促す言葉)	『大きなかぶ』の世界を想像し、そこに登場したものを発表する活動 「大きなかぶがあったよ」 「おじいさんやおばあさん、孫が出てきたよ」
展開	「自分が想像した場面や思い浮かべたことを楽しく絵に表しましょう。どんな絵になりそうかな」	「 ④ 」(教師の言葉を受けて予想される児童の言葉)
	『大きなかぶ』の絵本を教室の前に立てかけておき、児童がいつでも見られるようにする 「 ② 」(描く場面が想像しにくい児童の活動を促す支援の言葉)	「どの場面を、どんなふうに描いたらいいかわからない」
	「 ③ 」(描画材に関して支援する言葉)	
振り返り (鑑賞)	「さあ、みんなの描いた『大きなかぶ』を見せてください。自分の描いた絵の工夫したところをみんなに教えてください」	「 ⑤ 」(教師の言葉を受けて予想される児童の言葉)

問 2 低学年における「鑑賞」する活動で、色セロファン(12色、各 15 cm × 15 cm)を使って「いろの
見えかた むげん大」という授業を行うことにする。このことに関する次の各問いについて、解答
用紙の行頭 1 文字目に(1)、(2)の問題番号を書いた後に答えなさい。

(1) 色セロファンを使った「鑑賞」する活動において、どのような学びが行われるか、各 25 字以
上 50 字以内で五つ記述しなさい。なお、解答は、一つごとに改行し、「色セロファンをどのよ
うに使用するか」「鑑賞することにより、どのような学びができるか」を明確に読み取れるよう
記述すること。

(2) 「鑑賞」の指導を行う際には、どのようなことに配慮する必要があるか、空欄

①

 ～

⑤

 に当てはまる内容について、各 25 字以上 75 字以内で記述しなさい。なお、解答用
紙の行頭 2 文字目に①～⑤の番号を書いた後に記述すること。

項目	配慮事項
教室環境・備品について	①
	②
ワークシートについて	③
	④
上記以外について	⑤

家 庭

問 1 「小学校学習指導要領」の「第 2 各学年の内容〔第 5 学年及び第 6 学年〕 1 内容 A 家族・家庭生活 (2) 家庭生活と仕事」には、次の内容が示されている。

- ア 家庭には、家庭生活を支える仕事があり、互いに協力し分担する必要があることや生活時間の有効な使い方について理解すること。
- イ 家庭の仕事の計画を考え、工夫すること。

この内容に関する授業を、第 5 学年から第 6 学年にかけて行うことを計画している。2 年間にわたる指導計画において、第 5 学年と第 6 学年では、それぞれどのような授業内容にするか、合わせて 800 字以内で記述しなさい。なお、その授業を行う時期、系統性に関する内容を含めて記述すること。

問 2 『小学校学習指導要領解説』の「第 2 章 家庭科の目標及び内容 第 3 節 家庭科の内容 B 衣食住の生活 (6) 快適な住まい方」の指導内容に関する次の各問いについて、解答用紙の行頭 1 文字目に(1), (2)の問題番号を書いた後に答えなさい。

(1) 「季節の変化に合わせた生活の大切さや住まい方」について理解させるため、日本の生活文化に気付くことができるような学習活動を行いたい。このような学習活動を行う意義について、300 字以内で記述しなさい。

(2) (1)を踏まえ、「季節の変化に合わせた生活の大切さや住まい方」について、日本の生活文化に気付くことができるような学習活動の例を、500 字以内で記述しなさい。なお、学習活動の例は、複数記述してもよいこととする。

体 育

問 1 新任教師 A は、「小学校学習指導要領」に則り、中学年において「リズムダンス」の授業を行うことになった。新任教師 A は、その時流行しているダンスを取り上げることにし、事前に動画を見ながら振り付けを覚えた。授業では、時には動画を見せながら児童に振り付けを指導し、単元の終わりには児童全員が一糸乱れず踊れるようになった。この授業を見たベテラン教師 B は、この授業の実施について、「根本的な考え方の誤り」を指摘し、「リズムダンスを指導する際の三つの留意点」を示した。

「根本的な考え方の誤り」とは何か、また、「リズムダンスを指導する際の三つの留意点」とはそれぞれ何か、全て合わせて 400～600 字程度で記述しなさい。

問 2 第 6 学年の内容「病気の予防」を扱う単元計画を立てている。下の表は、その単元計画の主な学習活動を示している。表中の空欄 ① ～ ④ に当てはまる内容について、解答用紙の行頭 1 文字目に①～④の番号を書いた後に答えなさい。なお、それぞれ次の二つの語句を用いて記述し、用いた二つの語句に下線を引くこと(複数回使用した場合にもその全てに下線を引くこと)。また、それぞれ 100～150 字程度、全て合わせて 400～600 字程度で記述すること。

【語句(使用する順番は問わない)】

- ① : 「発生源」 「体の抵抗力」 ② : 「日常的な運動」 「生活習慣」
 ③ : 「心身の健康」 「法律で厳しく規制」 ④ : 「保健所」 「予防接種」

時間	第 1 時	第 2 時	第 3 時	第 4 時
主 な 学 習 活 動	病気の起こり方	病原体が主な要因となつて起こる病気の予防	生活行動が主な要因となつて起こる病気の予防(1)	生活行動が主な要因となつて起こる病気の予防(2)
	1. 今までに自分や家族がかかった病気や、知っている病気を発表する 2. 病気は、病原体、体の抵抗力、生活行動、環境などが関わりあつて起こることを知る	①	②	1. 自分の生活の経験から、むし菌や菌ぐきの病気が起こる原因について考える 2. その予防の仕方を知り、学習したことをもとに、自分の生活に当てはめてみる

時間	第 5 時	第 6 時	第 7 時	第 8 時
主 な 学 習 活 動	喫煙と健康	飲酒と健康	薬物乱用と健康	地域の様々な保健活動の取組
	1. 喫煙による健康への影響について調べる 2. 受動喫煙により周囲の人々の健康にも影響を及ぼすこと、20 歳未満からの喫煙は害が特に大きいこと、法律で禁止されていることを知る 3. 好奇心や周りの人からの誘いなどがきっかけで喫煙を開始する場合があることを知る	1. 飲酒による健康への影響について調べる 2. 20 歳未満からの飲酒は、害が特に大きいこと、法律で禁止されていることを知る 3. 好奇心や周りの人からの誘いなどがきっかけで飲酒を開始する場合があることを知る	③	④

外国語(英語)

問 1 次の各問いについて、解答用紙の行頭 1 文字目に(1), (2)の問題番号を書いた後に答えなさい。

- (1) あなたは小学校の教員で、同僚から「モデルを見せて、反復練習させても英語で話せるようにならない」と相談を受けた。児童が話せるようにならない理由と、話せるようになるための望ましい指導について、あなたの考えを、合わせて 300 字以内で記述しなさい。

- (2) あなたは小学校の教員で、同僚から「話す内容が書かれている黒板を見ないと英語で話せない子が多い」と相談を受けた。児童が書かれた英語を見ないと話せない理由と、話せるようになるための望ましい指導について、あなたの考えを、合わせて 300 字以内で記述しなさい。

問 2 次の英文(A)，(B)を読んで，下の各問いに答えなさい。なお，解答用紙の行頭1文字目に(1)～(3)の問題番号を書いた後に答えること。

Gardner, B., & Gardner, F.(2000).
Classroom English

許諾を得ておらず不掲載

- (1) 英文(A)を200字以内の日本語に要約しなさい。
- (2) 英文(B)を100字以内の日本語に訳しなさい。
- (3) 英文(B)について，著者がこのように主張する理由を考え，100語以内の英語で記述しなさい。なお，記述に当たっては解答用紙のマス目に合わせる必要はない。